

熊本県県有林による間伐を用いた温室効果ガス吸収事業

熊本県南部を流れる球磨川及びその支流である川辺川の上流に位置する本プロジェクト対象地は、健全な森林を維持するために平成19年度から平成23年度までの5年間で約140haの間伐を実施し、これにより二酸化炭素の吸収が促進されています。

| | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| プロジェクトの実施場所 | 熊本県球磨郡五木村 |
| 吸収量(予測) | 年間 1,088 t-CO ₂ |
| 在庫量 | 2,146 t-CO ₂ (2012年6月時点) |
| クレジットの次回発行予定 | 平成25年4月 |
| 1t-CO ₂ あたりの希望単価 | ¥ 応相談 |

本プロジェクトは、熊本県球磨郡五木村(子守唄の里)の県有林を適期に間伐し、森林の持つCO₂吸収量の増加を図るものです。

このCO₂吸収量を販売し、その資金を新たな間伐実施などの森林整備に投資し、森林の公益的機能が増進され、地域の環境保全や雇用の確保が図られます。

また、プロジェクト対象地は、全域が水源かん養保安林であり、適正な間伐施業を行うことで水源かん養機能を高度に発揮されるとともに、災害防止効果も期待できることから下流域の保全も図られます。

なお、本プロジェクトを含む流域全体の森林整備が適正に行われていることで、本年、国土交通省が発表した「1級河川の水質ランキング」で5年連続日本一を獲得した川辺川や「日本三大急流」のひとつである球磨川を基盤とする下流域住民の生活が支えられています。



■担当者連絡先 熊本県農林水産部森林局森林整備課
(担当:山部、TEL096-333-2439、
EMAILyamabe-n@pref.kumamoto.lg.jp)